

フィリピピン社に30%出資

三井住友
F&L 再生エネ需要取り込み

三井住友フィナンシャルグループ（F&L）傘下の三井住友ファイナンス&リース（F&L）は25日、フィリピンで企業向けリースを手がけるRCBCリーシング&ファイナンス（RCBCリーシング&ファイナンス）の発行済み株式の30%を取得し、持ち分法適用会社にしたと発表し、出資額は数十億円とみられる。RCBCリーシング&ファイナンスへの出資で高い成長が見込まれるフィリピン市場に参入し、インフラや再生可能エネルギー関連の需要を取り込む狙い。

三井住友F&Lはフィリピンで事業拡大を進めており、2023年には傘下の三井住友銀行がRCBCを持ち分法適用会社にした。RCBCリーシング&ファイナンスはフィリピン大手のリサール商業銀行（RCBC）が出資するリース会社。グループの顧客基盤を強みにファイナンスリース、オペレーティングリース、企業向けローンなどを展開する。